

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・希望が丘東地区は、希望ヶ丘駅北側一帯の南斜面丘陵地を中心とした地域であり、何本もの谷戸筋が複雑な地形を構成し、戸建て住宅と集合住宅が混在しています。現在は22自治会町内会(約5400世帯)が暮らし、人口はこの5年で少し増えていて、旭区の平均よりもファミリー層の占める割合が多く、「みんなで築く生き生き活力のある街」をスローガンに、子どもから高齢者までいつでもみんなが「助けあい」「支えあい」「見守り」「ふれあい」、いつまでも安全に安心して暮らせる地域を目指しています。

・二俣川ニュータウン地区は、区中西部に位置し、県運転免許試験場と保土ヶ谷バイパスの間の丘陵地帯を開発して生まれたニュータウンと、その周辺の地区で構成され、開発から50年を経ています。現在は11町内会(約4000世帯)が暮らし、その9割を戸建て住宅が占めています。少子高齢化が進んでいますが、「住んでよかったと思える街」をスローガンに、音楽が響き、スポーツが盛んなまち、みんなのふるさとニュータウンとなる地域を目指しています。

・昨年度はコロナウイルスの影響でケアプラザの貸室や地域の活動が中止となりましたが、ケアプラザはそれぞれの地域が目指す姿の実現のために寄り添い、何をすべきか、どのような方法で行うのか、優先順位はどうかなどを住民の皆様と一緒に考え事業運営をしていきます。地域における各種会議(地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会等)や行事(今宿音楽祭、今宿ふれあい演芸会、二俣川ニュータウン福祉祭等)等に参加し、常に地域の皆様や団体との顔の見える関係づくりを積極的に進めていきます。

・地域やケアプラザを拠点として活動しているボランティア団体や活動団体は高齢化してきており、その団体が活動を継続できるように持続可能となるよう新たな参加者の発掘へと繋がる自主事業を実施することを心がけていきます。

・認知症の正しい理解促進のため、認知症サポーター養成講座や講演会等の開催による普及啓発に努め、認知症になっても、当事者や家族が安心して生活を送れるよう、地域や関係機関とのネットワーク構築を図ります。

・高齢者のみならず、障害関係および子ども・子育てに関する幅広い相談にも対応しており、専門機関に的確につなぐ中継点の役割をケアプラザは担っていきます。

・常勤、非常勤を問わず、資質向上を図るため外部研修等に積極的に参加するとともに、伝達研修により、内容を職員間で共有し、業務に反映するように努めます。また、指定管理者の法人職員として法令遵守に努め、業務に関わる最新の正確な情報を職員間で共有します。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	支援チームや各地区と連携し旭区地域福祉保健計画地区別計画の策定支援及び策定後の地区計画のPRIに努める。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	令和3年度は合築の地区センターと連携し、地区センター体育室にてサロンと運動ができる事業を共同企画。併せてその運営全般にボランティアとして参加していただく道筋を作る。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業や教室等の開催において、開催場所に行くことが困難な方にも対応ができるよう、また安心して参加ができるようオンラインでの配信に取り組む。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	協力医による担当区域内のケアマネジャー向けの医療勉強会を定期的に企画「高齢者に多い疾病」や「生活障害のマネジメント」を学び医療知識を向上し質の高いケアマネジメントの推進を図る。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域で活動するケアマネジャーや民生委員から地域に欲しいインフォーマルサービスを聞き取り事例に取り上げて行く。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・地域福祉保健計画の趣旨や地域の目指す姿を地域住民と共有する場の設定や地域住民主体で地域課題の解決に取り組むため、支援チームや各地区と連携し地域を支援しました。ケアプラザの入口には各地区の地区計画を掲出、地域住民へのPRIに努めました。

・誰もが集える住民主体のボランティア活動として、令和3年4月から地区センターと共催でエンジョイ今宿を体育室にてスタートしました。会場はコーヒーボランティアによるサロン、スクエアステップのボランティアによる身長、体重、骨年齢、握力測定などの健康フェア、参加団体の方々によるポッチャ体験コーナーなど月に一度地域の皆様に楽しんでいただきました。尚、ボランティアグループの後方支援として、10月に開催したコーヒー淹れ方講座の参加者から新たに6名の方がコーヒーボランティアに入会しました。

・開催場所に行くことが困難な方だけでなく誰もが気軽に安心して参加できるように、新しい生活様式に沿ってICTを活用して事業や講座のオンライン開催に向けて取り組みました。エンジョイ今宿では会場の様子をライブ配信することで事前に混雑具合が分かるようになりました。またホームページには施設の様子や活動団体を動画で載せました。

・協力医や地域の医師の協力を得てケアマネジャー対応の医療勉強会を実施し医療知識の向上を図り質の高いケアマネジメントの推進を図った。

・地域で活動するケアマネジャーに対して、アンケート方式でのインフォーマルサービスの聞き取り調査をし、今後の活動に生かした。

□ 区からのコメント

- ・今年度、第4期旭区地域福祉保健計画が策定され、今後は各地区において目標に向かって計画が推進されることとなります。支援チーム内において、地域に最も身近な存在である地域ケアプラザには、各地区の推進組織やキーパーソンへの働きかけ、地域の情報収集を行ったうえでの支援チームへの情報共有等、期待される役割は多岐にわたります。日頃からの関係を活かし、地域と行政との橋渡しの役割を担っていただけることを期待しています。
- ・地域アセスメントを丁寧に行い、コロナ禍で外出機会が減り自宅にこもりがちとなっている地域住民が集える場所となるように、「エンジョイ今宿」等を工夫して企画・実施されました。開催準備でボランティア団体を結びつけるなど、いろいろな立場の方が意義を持って参加できる機会となったと思います。
- ・コロナ禍においても、ICTを活用して講座・研修等の開催、地域との関係づくりを進めていました。一方でインフォーマルサービスの活動縮小、新しい生活様式の変更等、コロナ禍特有の課題も見えてきたと思います。今年度得られた成果をもとに、次年度の事業へ活かすことを期待します。
- ・協力医との医療勉強会はとても良い取り組みになっていると思います。引き続き取り組んでいただきたいと思います。

令和3年度横浜市今宿地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	市指定管理施設の法人職員として、自覚を持ち、法令順守に努め、ケアプラザの職員として全てにおいて差別のない対応に努めます。そのためにも、常勤・非常勤を問わず、OJTを中心に資質の向上に努め、外部研修にも積極的に参加します。また、倫理研修をはじめ、部内研修にも力を入れ、公正・中立性の確保に努めます。	事故防止については、採用時研修をはじめ、事故防止マニュアル等での研修など、OJTを中心に徹底して行います。また、仮に事故が発生した場合でも被害の最小限に努めるとともに、適正な手続きを実施します。 個人情報保護については、制度の趣旨を理解するとともに、実務上でも事故防止につながる研修を実施し万全を期します。
実績	横浜市の施設運営を担う職員として、自覚と責任を持ち法令順守に努め、公正・中立性を確保し利用者に気持ち良く利用していただくため今宿地域ケアプラザ職員の年度行動基準を設け公正・中立な運営に努めました。あわせて新型コロナウイルスの感染予防対策の研修等を実施し、利用者の安全・安心の確保に努めました。また人権研修の実施や外部研修への参加にも力を入れ職員の資質の向上に努めました。	他施設の事例を題材に事故の発生防止や発生時の対応等について研修会を実施しました。個人情報保護については、過去の事例の再確認や他施設の事例を確認するなど再発防止の徹底を図りました。またヒヤリハットなどの情報共有は年間を通して実施しました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者様本人が自ら設定した目標に向かって積極的に取り組んでいけるように、地域資源を活かした、その人らしい予防サービス計画の作成に努めました。	利用者様本人が住み慣れた地域で、できる限り自立した、その人らしい生活が送れるように、関係機関と連携し地域の社会資源を活かした居宅支援計画の作成に努めました。
利用料金・実費負担	なし	該当なし。
職員体制	・管理者常勤1名 ・介護支援専門員:専任非常勤1名、兼任非常勤1名	・管理者兼介護支援専門員:常勤1名 ・介護支援専門員:常勤1名、兼任非常勤1名
契約者数	325人	・要介護①32件、・要介護②30件、・要介護③8件、・要介護④7件、・要介護⑤6件 合計83件

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	・安全、安心を第一に、利用者様本人の意思やその人らしさを尊重したきめ細やかなサービス提供を目指していきます。他者との交流、社会生活への参加、閉じこもりの解消、介護者の負担軽減、身体機能の維持及び改善を目標にサービスを提供しました。		

実施体制	【実施日数】 307日 【提供時間】 5時間5分 【定員】 45名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実負担	■通所介護 要介護1: 608円 要介護2: 719円 要介護3: 829円 要介護4: 939円 要介護5: 1,050円 入浴介助加算: 49円 口腔機能向上加算: 161円 ■横浜市通所介護相当サービス 要支援1: 1,793円 要支援2: 3,675円 運動器機能向上加算: 242円 口腔機能向上加算: 161円 複数実施加算: 515円 ■介護職員処遇改善加算(Ⅱ) ■介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ) ■食費負担: 880円 ■その他 リハビリパンツ: 150円 尿取りパッド: 50円		
職員体制	・生活相談員3名(常勤)・看護師4名(非常勤)・介護員11名(非常勤)・運転員5名(非常勤)		
契約者数等	【延べ利用者数】 8713名 【契約者数】 102名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市今宿地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,696,000	1,348,170	16,044,170	15,690,703	353,467	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)			0	126,300	△ 126,300	自主事業参加費
雑入	0	0	0	18,770	△ 18,770	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	18,770	△ 18,770	自動販売機売上
その他			0	0	0	
その他	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
収入合計	18,686,000	1,348,170	20,034,170	19,825,773	208,397	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,730,909	0	11,730,909	11,672,293	58,616	
本俸	9,200,000		9,200,000	8,769,551	430,449	コーディネーター、サブコーディネーター、所長、事務職
社会保険料	820,000		820,000	970,129	△ 150,129	コーディネーター、サブコーディネーター、所長、事務職
手当計	1,500,000		1,500,000	1,764,428	△ 264,428	コーディネーター、サブコーディネーター、所長、事務職
健康診断費	137,909		137,909	49,730	88,179	コーディネーター、サブコーディネーター、所長、事務職
勤労者福祉共済掛金			0	118,455	△ 118,455	コーディネーター、所長、事務職
退職給付引当金繰入額	73,000		73,000	0	73,000	
その他			0	0	0	
事務費	640,000	0	640,000	635,332	4,668	
旅費	30,000		30,000	27,134	2,866	会議、研修等参加費
消耗品費	219,440		219,440	146,545	72,895	文具、衛生用品、電気製品等
会議滞在費			0	0	0	
印刷製本費	100,000		100,000	113,951	△ 13,951	コピー、印刷機消耗品等按分使用料、封筒印刷按分
通信費	80,000		80,000	73,138	6,862	ADSL、電話、郵便按分
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)	10,560		10,560	10,560	0	目的外使用料(自動販売機設置)
その他			0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000	0	200,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料			0	16,673	△ 16,673	銀行等振込手数料
リース料			0	0	0	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	247,331	△ 247,331	保健衛生費、車両燃料費、車両保険費等按分
事業費	1,390,000	0	1,390,000	152,327	1,237,673	
運営協議会経費			0	0	0	
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	1,390,000		1,390,000	152,327	1,237,673	講師謝金、材料費
その他			0	0	0	
管理費	3,278,000	0	3,278,000	4,632,675	△ 1,354,675	
光熱水費	2,207,815		2,207,815	2,800,013	△ 592,198	全体額を指定管理料精算に基づき按分
清掃費			0	828,093	△ 828,093	
機械警備費			0	76,296	△ 76,296	
設備保全費	1,070,185	0	1,070,185	746,502	323,683	全体額を指定管理料精算に基づき按分
空調衛生設備保守			0	211,997	△ 211,997	
消防設備保守			0	18,600	△ 18,600	
電気設備保守			0	97,022	△ 97,022	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	1,070,185		1,070,185	418,883	651,302	
共益費			0	0	0	
その他			0	181,771	△ 181,771	
修繕費	474,000	1,348,170	1,822,170	1,468,703	353,467	予算:指定額
公租公課	1,173,091	0	1,173,091	0	1,173,091	
事業所税			0	0	0	
消費税	1,173,091		1,173,091		1,173,091	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	18,686,000	1,348,170	20,034,170	18,561,330	1,472,840	
差引	0	0	0	1,264,443	△ 1,264,443	

自主事業費 収入	0	0	0	126,300	△ 126,300	
自主事業費 支出	1,390,000	0	1,390,000	152,327	1,237,673	
自主事業 収支	△ 1,390,000	0	△ 1,390,000	△ 26,027	△ 1,363,973	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	18,770	△ 18,770	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	8,210	△ 18,770	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度「横浜市今宿地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,081,000	0	29,081,000	28,966,037	114,963	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	3,670,154	2,131,846	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	57,800	△ 57,800	自主事業参加費
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	43,200	△ 43,200	自主事業参加費
雑入	0	0	0	18,761	△ 18,761	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	18,761	△ 18,761	自動販売機売上
その他			0	0	0	
収入合計	35,037,000	0	35,037,000	32,909,952	2,127,048	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,258,000	0	31,258,000	29,758,501	1,499,499	
本俸	23,580,000		23,580,000	22,099,678	1,480,322	包括3職種、コーディネーター、所長、事務職員、非常勤職員
社会保険料	3,322,000		3,322,000	3,877,876	△ 555,876	包括3職種、コーディネーター、所長、事務職員、非常勤職員
手当計	3,939,000		3,939,000	3,506,059	432,941	包括3職種、コーディネーター、所長、事務職員、非常勤職員
健康診断費	70,000		70,000	24,728	45,272	包括3職種、コーディネーター、所長、事務職員、非常勤職員
勤労者福祉共済掛金			0	250,160	△ 250,160	包括3職種、コーディネーター、所長、事務職員
退職給付引当金繰入額	347,000		347,000	0	347,000	
その他			0	0	0	
事務費	650,000	0	650,000	1,134,090	△ 484,090	
旅費	10,000		10,000	8,780	1,220	会議、研修等出張旅費
消耗品費	210,000		210,000	117,456	92,544	文具、衛生用品、電気製品等
会議ठी費			0	0	0	
印刷製本費	80,000		80,000	331,074	△ 251,074	コピー、印刷機消耗品等按分使用料、封筒印刷按
通信費	45,000		45,000	393,840	△ 348,840	ADSL、電話、郵便按分
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560	10,560	0	目的外使用料(自動販売機設置)
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費	3,000		3,000	0	3,000	研修参加費
振込手数料			0	30,591	△ 30,591	銀行等振込手数料
リース料			0	0	0	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	200	△ 200	
その他	291,440		291,440	241,589	49,851	保健衛生費、車両燃料費、車両保険費等按分
事業費	2,022,000	0	2,022,000	974,438	1,047,562	
協力医	630,000		630,000	609,000	21,000	協力回数
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	926,000		926,000	129,613	796,387	講師謝金、材料費
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	120,544	33,456	講師謝金、材料費
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	312,000		312,000	115,281	196,719	合同事業費、研修費、材料費
その他			0	0	0	
管理費	981,000	0	981,000	1,231,461	△ 250,461	
光熱水費	727,000		727,000	744,306	△ 17,306	全体額を指定管理料精算に基づき、按分
清掃費			0	220,124	△ 220,124	
機械警備費			0	20,281	△ 20,281	
設備保全費	254,000	0	254,000	198,432	55,568	全体額を指定管理料精算に基づき、按分
空調衛生設備保守			0	56,352	△ 56,352	
消防設備保守			0	4,944	△ 4,944	
電気設備保守			0	25,790	△ 25,790	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	254,000		254,000	111,346	142,654	
共益費			0	0	0	
その他			0	48,318	△ 48,318	
修繕費	126,000		126,000	32,037	93,963	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	35,037,000	0	35,037,000	33,130,527	1,906,473	
差引	0	0	0	△ 220,575	220,575	

自主事業費 収入	0	0	0	101,000	△ 101,000	
自主事業費 支出	1,392,000	0	1,392,000	365,438	1,026,562	
自主事業 収支	△ 1,392,000	0	△ 1,392,000	△ 264,438	△ 1,127,562	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	18,761	△ 18,761	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	8,201	△ 18,761	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市今宿地域ケアプラザ

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				19,600,000	20,158,557	-558,557	12,300,000	13,926,256	-1,626,256	68,050,000	74,735,757	-6,685,757			0
	その他	0	0	0	0	0	0	900,000	0	900,000	950,000	851,492	98,508	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0	900,000	0	900,000			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0	950,000	851,492	98,508			0
	収入合計(A)	0	0	0	19,600,000	20,158,557	-558,557	13,200,000	13,926,256	-726,256	69,000,000	75,587,249	-6,587,249	0	0	0
支出	人件費			0	3,450,000	3,465,486	-15,486	10,880,000	10,510,551	369,449	39,140,000	42,909,141	-3,769,141			0
	事務費			0	1,370,000	1,103,642	266,358	1,190,000	960,035	229,965	3,410,000	12,590,638	-9,180,638			0
	事業費			0	170,000	112,979	57,021	290,000	119,393	170,607	7,710,000	9,246,222	-1,536,222			0
	管理費			0			0			0	11,600,000	3,970,634	7,629,366			0
	その他			0	8,000,000	10,424,840	-2,424,840	0	0	0	5,490,000	6,808,580	-1,318,580	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	8,000,000	10,424,840	-2,424,840			0			0			0
	施設利用料			0			0			0	3,990,000	3,990,000	0			0
	修繕費			0			0			0	600,000	1,960,151	-1,360,151			0
	その他			0			0			0	900,000	858,429	41,571			0
	支出合計(B)	0	0	0	12,990,000	15,106,947	-2,116,947	12,360,000	11,589,979	770,021	67,350,000	75,525,215	-8,175,215	0	0	0
	収支(A)-(B)	0	0	0	6,610,000	5,051,610	1,558,390	840,000	2,336,277	-1,496,277	1,650,000	62,034	1,587,966	0	0	0

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	くつろぎカフェ(音楽鑑賞会)	平成24年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	普段出かける機会が少ない方に、出かける機会を増やしてもらい。引きこもり予防。また、交流関係も広げていただき仲間作りの場としてもらう。	5:地域	1	人数を制限しての音楽鑑賞会。1年間テーマを決めてその時代の音楽を地域の方々に楽しんでいただく。年12回/第2水曜日実施。	12	382
2	クラシックバレエをとり入れたピラティス	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	年齢の低い新しい講師に依頼することで、若い講師を育てる事。夜間に開催することで、仕事帰りの新しい利用者層を開拓する。	5:地域		コロナ禍で運動不足やストレスを抱える人が多い中、クラシック音楽を聴きながらピラティスとクラシックバレエの動きで体幹を鍛え、運動不足とストレスを解消する。4・5月/計4回実施。	4	34
3	エンジョイ・今宿	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地区センターと連携し体育室にてサロン・軽運動・健康フェアの実施。	5:地域	1	体育室の半分をコーヒーボランティアによるサロン、残りの半分をポッチャ(2面)で軽運動、コーナーでは健康フェアも実施。年12回/第3火曜日実施。	9	432
4	介護食講座	令和3年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	介護をするご家族やお仕事で必要とされる施設の職員向けに介護食を勉強する。	5:地域	1	家族と同じメニューをアレンジして栄養が偏らず美味しい介護食を作る。6月/1回実施。	1	5
5	小学生向けプログラミング	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小学校の授業でも取り入れられているパソコンを使ったプログラミングの練習と子供たちにもケアプラザを知ってもらうきっかけ作り。	4:子ども・青少年		パソコンを使ったプログラミングを行う。8月/2回開催。【中止】	0	0
6	高齢者向けスマホ講座	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で家族(孫)に会えない時期にスマホのLINEを使いビデオ電話で家族で通話をする。	1:高齢者		LINEの使い方。9月2回開催。【中止】	0	0
7	コーヒー淹れ方講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	2回の講習の後、希望者にはコーヒーボランティア「ペリゴール」のメンバーとなりボランティア活動に参加していただく機会の提供を行う。	5:地域		サイフォンとドリップコーヒーの淹れ方を学ぶ。10月/2回実施。	1	7
8	クリスマスケーキ	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の同世代親子の方々との交流をはかる。親子での共同作業を通して、より絆を深める機会とする。	5:地域		親子で一緒に出来る簡単ケーキ作り。11月/1回実施。	1	18
9	お一人様料理教室	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	シニアの一人暮らし、食べるのも面倒と食事の回数が減り栄養不足になると心身ともに自立した生活が難しくなる。そんな方への料理教室。いつまでも元気に生きる為にはしっかり食事をするということについて伝える機会とする。	5:地域		お一人でも簡単に出来る料理教室。事業終了後はシニアの居場所作りにも努める。2・3月/2回。	2	22
10	R2大人の寺子屋同窓会:今宿CP	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	R2年度大人の寺子屋:今宿CP参加者が参加者同士繋がり、介護予防活動を継続する。	1:高齢者		気功、太極拳。4・5月2回開催	2	9
11	R2大人の寺子屋同窓会:清水ヶ丘分校	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	R2年度大人の寺子屋:清水ヶ丘分校参加者が参加者同士繋がり、介護予防活動を継続する。	1:高齢者		体操、スクエアステップ。4・5月2回開催	2	9
12	R2大人の寺子屋同窓会:東希小コミハ分校	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	R2年度大人の寺子屋:東希小コミハ分校参加者が参加者同士繋がり、介護予防活動を継続する。	1:高齢者		スクエアステップ。4・5月2回開催	2	15
13	大人の寺子屋1	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防に取り組みきっかけづくりと仲間づくりをし、継続して介護予防活動を行なう。	1:高齢者		体操、口腔衛生、栄養講座。年2回開催。	3	33
14	大人の寺子屋2	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防に取り組みきっかけづくりと仲間づくりをし、継続して介護予防活動を行なう。	1:高齢者		認知症予防講座、終活講座等年8回開催	7	72
15	大人の寺子屋1:清水ヶ丘分校	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防に取り組みきっかけづくりと仲間づくりをする。ケアプラザまで来所が難しい清水ヶ丘地区の方が身近な自治会館で介護予防活動に取り組む。	1:高齢者		体操、口腔衛生、栄養講座。年2回開催。【中止】	0	0
16	大人の寺子屋2:清水ヶ丘分校	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防に取り組みきっかけづくりと仲間づくりをする。ケアプラザまで来所が難しい清水ヶ丘地区の方が身近な自治会館で介護予防活動に取り組む。	1:高齢者		認知症予防講座、終活講座等年8回開催	10	84

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	大人の寺子屋1：東希小コミハ分校	令和2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをする。ケアプラザまで来所が難しい希望が丘東地区の方が身近にある東希小コミュニティハウスで継続して介護予防活動を行なう。	1：高齢者		体操、口腔衛生、栄養講座。年2回開催。	4	43
18	大人の寺子屋2：東希小コミハ分校	令和2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをする。ケアプラザまで来所が難しい希望が丘東地区の方が身近にある東希小コミュニティハウスで継続して介護予防活動を行なう。	1：高齢者		認知症予防講座、終活講座等年8回開催	5	48
19	大人の寺子屋1：二俣川ニュータウン分校	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをし、ニュータウン地区の方が身近な連合町内会館で介護予防活動に取り組む。	1：高齢者		体操、口腔衛生、栄養講座。年2回開催。	2	16
20	大人の寺子屋2：二俣川ニュータウン分校	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをし、ニュータウン地区の方が身近な連合町内会館で介護予防活動に取り組む。	1：高齢者		認知症予防講座、終活講座等年8回開催	7	59
21	エンディングノート活用講座	平成30年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザの役割の理解を深めると共に、各種制度や相談機関等について普及啓発を図り、自己決定や権利行使の支援に繋げる。	1：高齢者	5	エンディングノートを書き方から、介護保険制度や成年後見制度、葬儀等について学ぶ。年1回	3	32
22	成年後見制度・相続・遺言の出張相談会	平成29年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	権利擁護事業の一環として、成年後見制度等の各種制度の普及啓発や地域住民の相談の掘り起こしを図る。	5：地域	1	成年後見制度・相続・遺言、その他法律問題について、司法書士による個別相談会を実施。年6回	8	29
23	終活に向けての片づけ講座	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	生前整理を通して、これまでの生活を振り返り、また今後のライフプランを考えるきっかけが持て、エンディングノートの活用や終活に向けた取組に繋げる。	1：高齢者		講師を招いて、生前整理や方法等について講座を開催。年1回	1	15
24	コロナ禍の葬儀事情	令和2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	最近の、特にコロナ禍における葬儀事情を知ること、エンディングノートの活用や終活に向けた取組に繋げる。	1：高齢者		講師を招いて、コロナ禍における葬儀の変化やあり方について講座を開催。年1回	1	10
25	認知症サポーター養成講座	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	認知症についての正しい知識や理解を深め、地域で認知症の見守りや支援に向けた取組に繋げる。	5：地域	1	キャラバンメイトと協力しながらサポーター養成講座のテキストを使用した講座を開催。また認知症に関連する情報提供を行う。年4回	5	56
26	映画上映会	平成29年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	世界アルツハイマーデーに合わせた、認知症の正しい理解に向けた普及啓発活動。	5：地域	1	認知症に関連する講座と映画上映。年1回	1	36
27	ペーパークイリングでクリスマス飾り&ポチ袋を作りました	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍で出かける場所があまりない中、コロナ対策をしっかりと部屋で手を動かして作品を完成させることで気分転換し、作品を利用することで、生活に彩りを加えてもらう。	5：地域		1回目ポチ袋作り 2回目クリスマス飾り作り	2	29
28	ボールウォーキング	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	整形外科から発想された「ボールウォーキング」に取り組むことで、専用ボールを持って立つだけで姿勢が美しくなるとされている。転倒を予防し、ウォーキングの安全性を高める。	5：地域		全4回、教室内で講義から始まり2回目からは実際に外に出てウォーキング。最終回は自主活動への案内。	2	29
29	体操リーダー研修会	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の体操リーダーとなるボランティアの育成、また、指導力向上をはかる。	5：地域	1	コグニサイズの地域ミーティングと全国ミーティングのZOOM研修への参加を通じて、情報交換と交流。	2	8
30	介護する家族の交流会	平成28年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護者同士が情報交換する場所として過ごして頂いたり、介護に役立つ情報の提供や専門家を招いての講座、施設見学、勉強会などを目的として実施。	5：地域	1, 6	偶数月に実施。4月は「カフェ語り合い」で、特にテーマは設けず気軽におしゃべりして頂く企画とし、6月は「認知症介護実践講座」で講師を招き認知症に係るノウハウを専門家から学ぶ企画とした。	5	31